

報道関係者各位

令和8年4月14日

舞鶴引揚記念館 学生語り部 令和8年度の活動開始について

舞鶴引揚記念館では次世代による継承事業として、中学生・高校生・大学生等で構成される「学生語り部」が、館内案内やイベントへの参画、同世代交流などに取り組んでいます。令和8年度の活動を4月から新たに語り部となった学生を加え、4月26日（日）からスタートとすることになりましたので、お知らせいたします。

1. 実施日と主な内容

〈第1回目〉令和8年4月26日(日) 10時～16時

[内容] 新たな学生語り部のオリエンテーションと「こどもの日」イベント準備
午前：先輩の学生語り部と一緒に館内案内の練習 ほか
午後：「こどもの日」のイベント準備
紙芝居の練習、抑留いろはかるたのリハーサルなど

〈第2回目〉令和8年5月5日(火) 9時30分～15時

[内容] 「こどもの日は引揚を知ろう」
イベントスタッフ

- ・館内案内（随時）
- ・クロの紙芝居上演 10:30、13:00
- ・かるた大会の進行 11:00、13:30
- ・食の体験コーナー(黒パンほか)案内

※10:00から先着100名 など



▲昨年の様子(抑留かるた)

※こどもの日のイベントについては4月10日付で広報資料を提出しています。
参考にチラシを添付いたします。

2. 場所 いずれも 舞鶴引揚記念館

3. その他 各日の学生語り部の参加者は、現在、出欠確認中です

※令和8年度は、中学生名15名、高校生26名、大学生11名の合計52名が所属



まち
この舞鶴に
北陸新幹線を。

舞鶴引揚記念館 館長 嵯峨根吉宏
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044

TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370

E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp

《参考：学生語り部について》

●経緯

- ・舞鶴市では引揚記念館事業において、体験者から次の世代への継承として、平成16年度から、戦争を経験していない世代も対象にした「語り部養成講座」を開催しています。
- ・平成22年度から、参加者減少で中止しましたが、平成27年10月の所蔵資料の「ユネスコ世界記憶遺産」登録を契機に、6年ぶりに「語り部養成講座」を復活させました。
- ・平成28年度の「語り部養成講座」に、初めて中学生3人が自主的に参加を希望してきたのをきっかけに、一般の語り部とは別に、講座を修了した中学生・高校生などで構成する「学生語り部」が、平成29年4月に誕生しました。

●活動について

- ・学生語り部は舞鶴引揚記念館に所属し、「語り部養成講座」や体験者などから学んだ知識を、“自らの言葉”として語り継ぐことを心がけています。
- ・主に長期休み期間、土・日曜（不定期）を中心に、以下のような活動を行っています。
 - 舞鶴引揚記念館の来館者を館内案内し、展示資料を説明
 - シベリア抑留や引き揚げなど、戦争体験者から直接、当時の様子や体験談を聞く
 - 直接またはリモートによる同世代との交流
 - ・教育旅行や平和学習などで、当館を訪れる市外の同世代
 - ・戦争に関わる歴史を有するまちや施設などで活動する同世代 など
 - 市内外で各種イベントやフォーラム等への参加

ほか



▲館内案内の様子



▲同世代との交流
「平和未来ワークショップ」
(令和7年7月)



▲関西万博での展示案内



まち
この舞鶴に
北陸新幹線を。

舞鶴引揚記念館 館長 嵯峨根吉宏
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
[TEL:0773-68-0836](tel:0773-68-0836)、[FAX:0773-68-0370](tel:0773-68-0370)
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp